

写真展開催のお知らせ

Monochrome or Monotone

EIJI INA×TOSHIO SHIBATA

「モノクローム or モノトーン」伊奈英次×柴田敏雄

10月28日（金）～11月26日（土）

会場：ギャラリー・アートアンリミテッド

関連トーク 11月5日（土）15：00～ 伊奈英次×柴田敏雄

（先着20名 予約者は着席可能

予約方法 電話：03-6805-5280 info@artunlimited.co.jp ）

写真や映像の最初の表現はモノクローム（白黒）でした。【モノクローム】にはモノトーン（単色）という意味もあり、単調、退屈などという意味もあります。カラー画像が標準化し氾濫する現代でもアーティストにとって【モノクローム】は永遠のテーマでしょう。4×5や、8×10の大型カメラで撮影し、スケールの大きな作品で注目を集め続ける二人の写真家・伊奈英次×柴田敏雄による二人の「モノクローム」とは何か？40×50インチから8×10までオリジナルプリントを展覧します。

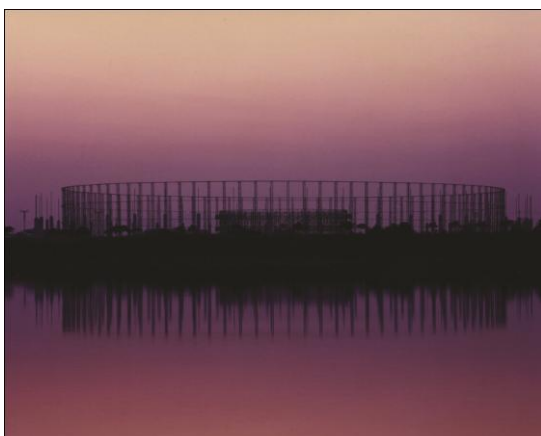
11月5日（土）には 伊奈英次×柴田敏雄 のトークも開催。カラーの暗室を共有するほど親しい写真家の二人の対談は初めての試みです。



柴田敏雄 #2046 福島県南会津郡桧枝岐村
Hinoemata Village, Fukushima Prefecture
1996年 Gelatin Silver print



柴田敏雄 C_1615 グランドクーリーダム
Grand Coulee Dam, Douglas County,
WA2010年, Type-C print



伊奈英次

Eiji Ina 「Zone 2」,The U.S Air Base in Misawa
Japan, 1987 Type-C print



伊奈英次

Eiji Ina 「Waste 662」, 2000 年
Type-C print

[略歴]

伊奈英次 Eiji INA

1957年 愛知県名古屋市生まれ。1984年 東京総合写真専門学校研究科卒業。以後プロのカメラマンとして多彩に活躍。1988 第4回東川賞新人賞受賞、1998 レオポルト・ゴドウィスキーJr.カラー写真賞2席入賞。米軍の核戦略施設やアンテナを撮影した『ZONE』や産業廃棄物を撮影した『WASTE』など社会のタブーとの境界を求めた問題作を次々と発表。2009年、全天皇稜を撮影した『EMPEROR OF JAPAN』でフォトシティさがみはら2009プロの部最高賞を受賞。東京国立近代美術館ほか内外の美術館に作品が収蔵されている。近年、養老天命反転地や原発など新たなテーマに取り組みつつある。

柴田敏雄 Toshio SHIBATA

1949年 東京に生まれる。1974年 東京芸術大学大学院油画修士課程修了。1975年 ベルギー王立アカデミーで写真を学ぶ。1992年 『日本典型』で第17回木村伊兵衛賞受賞。世界各地で多数の個展、グループ展。2009年 東京都写真美術館 個展「柴田敏雄 ランドスケープ」展を開催。2009年日本写真協会賞作家賞、第25回東川賞国内作家賞受賞。ダムなどのインフラと自然の融合を独自の視点で撮影、大型写真で提示し、写真を超えた造形美を実現。MOMA、ボストン美術館、パリ・ポンピドゥー・センターなど各国の多数の美術館が作品を収蔵。近年カラーに転じ、新たな境地を展開。2012年8月 国立新美術館で辰野登恵子との2人展が開催される予定。

Gallery ART UNLIMITED

107-0062 港区南青山 1-26-4 六本木ダイヤビル3F

tel.:03-6805-5280 fax:03-6805-5281 担当:高砂(たかすな)

<http://www.artunlimited.co.jp> e-mail:info@artunlimited.co.jp